

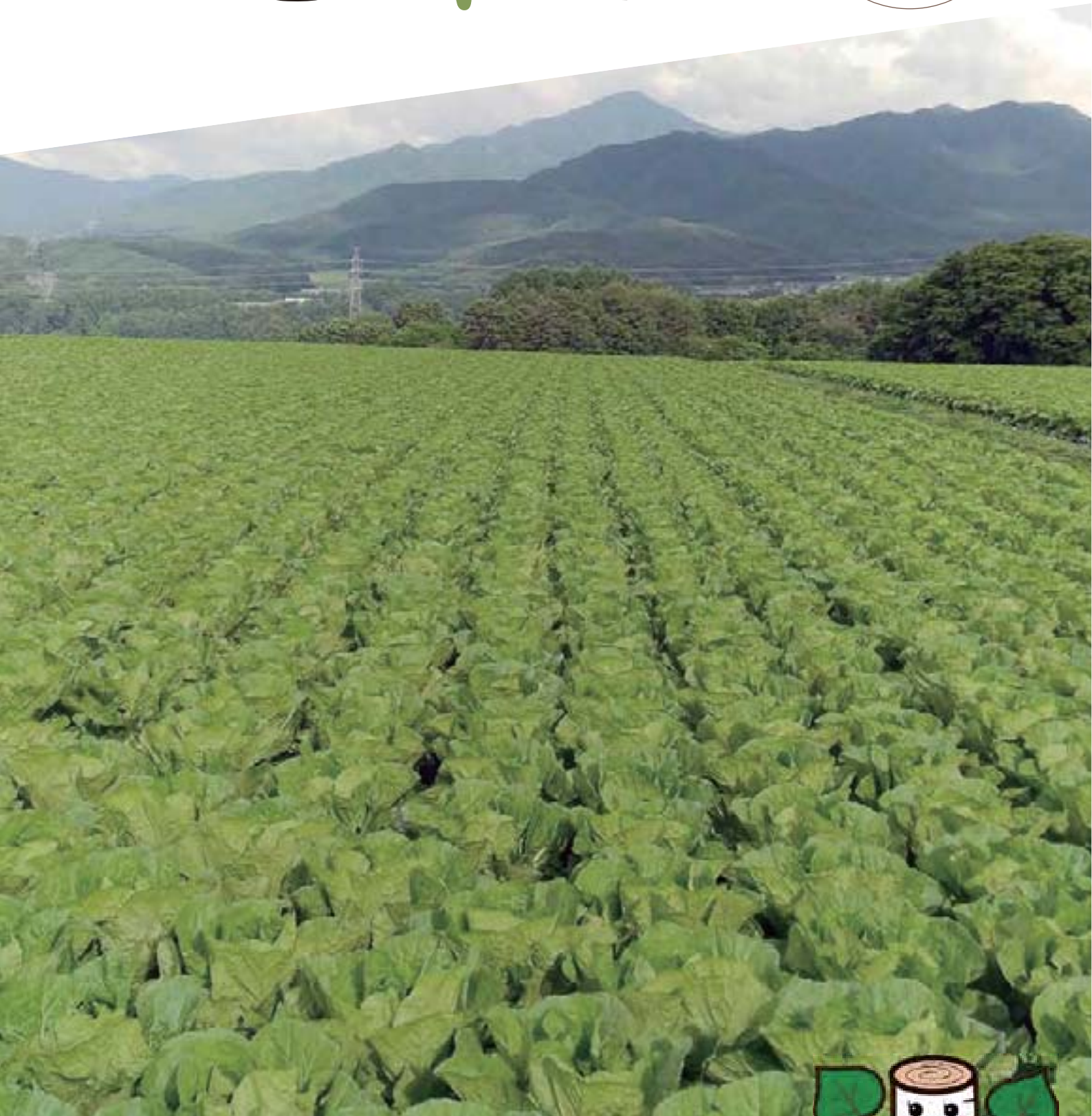
広報

さくほ

2017

No. 132

9.28



●主な記事 特集①地域を知る、今をつなぐ、未来が変わる

地域のコーディネーター役 2～4p

特集②八千穂高原スキー場の民間譲渡に向けて動き出します..... 6・7p

公民館報 20p～27p



しらかぼちゃん

地域を知る、今をつなぐ、未来が変わる 地域のコーディネーター役

～ 集落支援員 佐々木正道さん・力武文雄さん ～



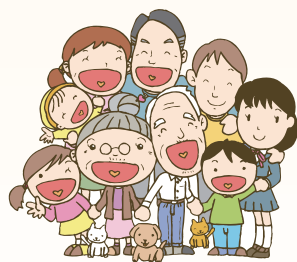
今年の1月から3月まで、畑ヶ中区と天神町区で「集落点検」という話し合いイベントが開催されました。その背景で、集落との話し合いから集落点検実施まで、表にあまり見えないところで集落を分析・サポートし、この集落点検事業において欠かせない存在が「集落支援員」です。

昨年の4月に町長から委嘱された佐々木正道さん（千ヶ日向区）、今年の6月に町長より委嘱された力武文雄さん（中央区）。今、集落の現状分析、意見交換会や集落点検に精力的に取り組んでいます。

集落支援員制度って 知ってる？

当町は、住民が楽しく安心して暮らし続けることができるまちを目指し、住民が郷土愛を育み、集落が自主的に課題を解決できる体制をつくるため、「集落支援員」という外部人材を任用しています。

この制度は、町長から委嘱された集落支援員が、町と連携し、集落の巡回や状況把握などを実施し、集落の維持や活性化することを目的としています。総務省からの財政支援があり、支援員の活動費として活用しています。



どんな方が支援員になるの？

地域の実情に詳しく、地域づくりへの関心が高い方です。

佐々木さんは、2年前に区長を2期4年間務め、任期中は区長会長を



経験されました。防災訓練ではDIG（災害図上訓練）をいち早く取り入れ、区民同士が話し合うことで集落内のつながりを深める取り組みを実践されてきた方です。

力武さんは、7年前にアンテナさくほの代表として佐久穂町へ来られ、現在も地域ブランディング活動を中心にヒト、モノ、コトをつなげ、佐久穂の魅力を引き出し、地域活性化に取り組んでいる方です。

集落支援員としてどんな思いが生まれ、どんな取り組みをしていきたいかインタビューしました。

佐々木

「少子高齢化に伴い、あちこち『ほころび』の見え始めた集落、今ならまだ変えられるとの思いで受けました。日常生活の中に溶け込んだ課題に気づき、小さなことでも、皆で解決できる活力を引き出せるような取り組みをしていきたいと思っています。」

力武

「私は区や常会の役について経験がほとんどありません。一方、長く広告畑で、商品や会社、最近では町を対象としたブランディング業務に取り組んできました。今度も『集落ブランディング』といった方法でお役に立てればと思います。」



どんな活動をしているの？

昨年に引き続き、区との意見交換会を実施しています。「集落の代表の方を対象としたアンケート調査や人口数値を基に、予め課題を把握して臨みます。でも、当日は調査や数字には表れない生のご意見を多くお聞かせいただくよう心がけています。」と言う力武さん。地域の皆さんと一緒に悩む場となっています。この事業を通して、他の集落との共通点、参考になる取り組みなどを整理し、各集落へ情報提供していく予定です。

佐々木さんは共通点として「形のな

い課題のため、先に『無理・変わらない』など『結果』を心配してしまう。」という傾向があるのではと考えています。

下半期には、集落点検（ワークショップ・以下「WS」）実施に向けて、準備を進めていきます。意見交換会や集落点検（WS）を実施することで、見えてくる課題、解決策や共通点について、昨年経験したお二人に聞いてみました。

力武

「集落は、道路や水道のように私たちの生活の基盤だと思っています。人口減少や高齢化でどの集落も多かれ少なかれ弱体化が進み、補修や維持が必要な時期にきています。でも、以前からの様々な努力で活気を維持している集落も多くあります。」



佐々木

「地域では、個別の課題や問題点が列記されますが、そこに暮らしている『自分』との関わりが希

薄に思えます。また、課題解決の『担い手が不足している』と思います。んでいる傾向があるように思えます。地域の中で、まず課題を投げかけてみることで、自分は『こうなれば良いな』を話し合ってみることが大切ですね。」



ここで、昨年度集落点検（WS）を実施した「畑ヶ中区」のその後の活動を紹介します。

畑ヶ中区では、町と一緒に行った集落点検（WS）の経験を活かし、自分たちの手で少しでも住み良い集落になったらとの思いで「集まれ！

畑ヶ中」という会が立ち上がりました。7月から月1回開催を目標に、畑ヶ中集落センターで、子どもからお年寄りまでが気軽に楽しめる企画を実施しています。会代表の石井さんは「負担感がなく、自然な雰囲気の中で皆さんに楽しんでもらい、この場所（集落センター）が良く、自由にながられるようにしていきたい。」と話をしてくれました。

記念すべき第1回は、子どもたちが集まれるイベントなどを増やしていくこと、子どもたちのためにという共通の思いから、「昔の遊び・手作りの遊びを復活させよう」をテーマにして、楽しくグループワークを





行ったそうです。その結果が8月の第2回につながっています。

8月の「集まれ！畑ケ中」に集落支援員と町職員で参加させていただきました。まずは、畑ケ中区独自の踊り「畑ケ中音頭」をみんなで歌い、輪になって踊りました。「畑ケ中音頭」を復活・継承しようという想いもこの会にはあります。真剣な眼差しと笑顔で歌と踊りを楽しみました。折り紙とトランプはグループに分かれて遊びました。折り紙は得意な参加者から女性も男性も教わる姿や、みんなで共通の作品をつくりたいねと会話も弾み、トランプは、どこの

グループも手始めに「ばばぬき」からスタートし、その後「七並べ」や「じじぬき」へ。面白かったのは、「ばばぬき」一つとっても、グループでルールが違うこと。一つのグループはこだわりの「ばばぬき」を時間一杯楽しみました。



その後、全員参加で行う「スイカ割り（新聞紙製）」と「まわせまわせ（お手玉を使って）」を行い、た



くさんの笑顔と笑い声がセンターの中に響き渡りました。
「今後続くかが心配ではあるが、まず始めたことで皆さんも集まり開催できているので、毎月1回位ずつ長く続くように頑張っていきたい。」という石井さん。



主催側も参加側も無理のない範囲で、いかに楽しいことができるか。それに伴い、畑ケ中区での生活がどのように変化していくのか。今後の「集まれ！畑ケ中」から目が離せません。



これからどんな取り組みを進めるの？

「集落内においては、年長者に加え若者や女性と一緒に集落の今や将来について語る機会を作ること。集落相互では、機能や活気を維持するために培われてきた『集落の知恵』を共有すること。まずやるべき働きかけはこれだと思います。」という力武さん。

これからも、各集落の若者からお年寄りまで様々な方が参加できる意見交換会や集落点検（WS）を実施していきます。地域の皆さんと一緒に課題や活性化策について話し合い「『こうなつてほしいがムリ』と思う気持ちをほぐし、身近な課題を洗い出し、『楽しく変えていける』ような、そこに住む人の自信となる支援に心がけていきたい」と佐々木さんは言う。

この事業は、地道な取り組みです。全ての集落に効く特効薬もありません。住民が楽しく安心して暮らし続けることができるまちを目指し、集落の皆さんと一緒に未来を描き、課題を解決するためのアクションへつながることができるよう取り組んでいきます。

佐久穂町新庁舎建設委員会の設置について

新庁舎建設（統合庁舎）に向けた委員会を新たに設置しましたのでお知らせします。平成29年8月3日に委嘱書の交付、会長・副会長の選出を行いました。

この委員会は、①新庁舎建設の位置 ②新庁舎建設基本構想 について議論していきます。①については、以前から議論のあった3案、

- 【（A－1案） 現佐久庁舎敷地（現南庁舎建替）における新築】
- 【（A－2案） 現佐久庁舎敷地（現庁舎南側駐車場敷地）における新築】
- 【（ B 案） 旧佐久西小学校を利用した改築】

のうちの案が庁舎として最も良いのか、委員会としての結論を出すことになります。

なお、委員構成は以下のとおりです。

佐久穂町新庁舎建設委員会名簿			
委員構成	所属等	氏名（敬称略）	役職
商工観光関係者	商工会会長	由井 正隆	会 長
住民の代表	区長会会長	高見澤 敏光	副会長
議会議員	議会議員	高見澤 春野	
住民の代表	区長会副会長	佐々木 英海	
住民の代表	区長会副会長	畠山 敏雄	
商工観光関係者	観光協会会長	加藤 東鬼破	
商工観光関係者	商工会青年部部长	高見澤 晃	
農業関係者	農業委員会委員	草間 久美	
福祉関係者	手をつなぐ育成会副会長	菊池 元美	
消防関係者	消防団団長	高橋 康德	
町長が必要と認める者	高齢者クラブ連合会会長	石田 朝治	

●新庁舎建設を検討することになった背景

○平成21年に実施した佐久庁舎・八千穂庁舎の耐震診断結果では、耐震性不足（構造強度上不適格建築物であり、地震の震動及び衝撃に対して崩壊し、又は崩壊する危険性が高い）と診断されました。

○平成28年1月の住民意向調査による結果や、平成28年5月に議会から統合庁舎とされたいとの提言を受け、新庁舎（統合庁舎）の建設を検討することになりました。

○平成29年2月に長野県建築士会に委託し、新庁舎の建設にかかる基本的な指標を取りまとめた新庁舎基本計画を作成。なお、基本計画において、現佐久庁舎・八千穂庁舎は耐震改修が事実上不可能との判断を受けています。

八千穂高原スキー場の 民間譲渡に向けて動き出します

昭和59年にオープンし、長らく町営での営業を続けてきた「八千穂高原スキー場」ですが、この度民間に経営権を譲渡するという方針に決定しました。売却先はまだ決まっていますが、これから売却先を見つけるべく、動いていきます。

なぜ町営（町が直接経営）での営業を終了するのか？

八千穂高原スキー場は、オープン以来多くのスキーヤーに愛された素晴らしいスキー場です。雪質の良さはもちろん、スタッフの温かいおもてなしで、多くのファンを獲得してきました。

しかしながら、経営は悪化の一途をたどってきました。昨シーズンの赤字額は4700万円となっており、合併して佐久穂町になってからの累計赤字額は4億円を超えています。この赤字は、過去20年以上町費で補填されてきました。

佐久穂町の単年の町税収入（住民税、法人税、固定資産税等）は10億円程度ですので、スキー場の赤字額は、ほかの必要不可欠な住民サービスを考えると、看過できない状況です。

経営が悪化した原因は、スキー人口の低迷、若年層の減少などの厳しい外部要因を跳ね返すようなダイナミックな営業を展開することができなかったということです。また降雪量が少ないため、人工降雪に頼って営業をしているのも赤字額を増やしている要因になります。

外部の専門機関に、スキー場の経営状況について調査を依頼したところ、下記の二点を厳しく指摘されました。

- ・民間の経営に比べると、リーダーシップやマネジメント（経営管理機能）の体制が弱く、縮小傾向にある経営環境下では、効果的な経営ができない
- ・赤字がでても、町費から補填されるため、現場責任者、スタッフは危機感を抱きにくい

赤字の状況、スキー人口などの外部環境、マネジメント機能の弱さなどを総合的に判断し、町営での営業を終了することに致しました。

指定管理者制度にはしないの？

平成27年3月から平成28年2月まで計9回にわたって民間の有識者で組織された佐久穂町観光施設運営検討委員会においても、このまま町営で営業するのは厳しいため、「指定管理者制度による継続」そして、「民間譲渡」をすべきとの答申が出ております。

しかしながら、指定管理者制度に移行したとしても、実質的には赤字額を町費から補填する必要があり、赤字の解消にはならないため、一足飛びに「民間譲渡」に舵を切りました。

どのようなところに売却するのか？

どのような買い手がつくかは、今のところなんとも言えません。今後、スキー場を運営する会社に対して直接営業をしていき、また仲介業者を通して売却先を探していきます。

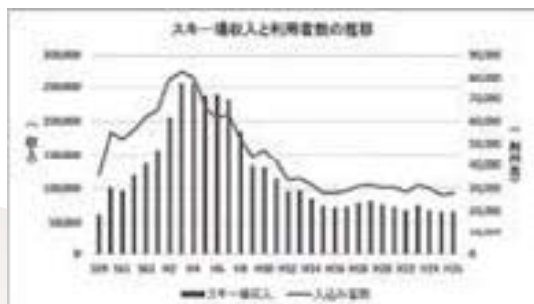
売却先は、いつ頃までに見つけるのか

可能ならば平成31年度シーズンから民間譲渡と考えています。見つからなかった場合も、平成31年3月末までは、町営で営業したいと考えています。

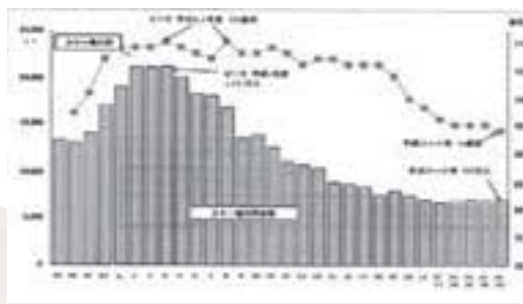
長野県のスキー場利用者の数

- 長野県においてスキー場利用者は、平成4年の2119万人から現在はその1/3の708万人まで落ち込んでいます。
- 八千穂高原スキー場もそれに呼応するように、ピークであった平成3年の8万2千人から、現在は1/3の2万7千人まで落ち込んでいます。

八千穂高原スキー場収入と利用者数の推移



長野県内のスキー場動向（資料：長野県観光部山岳高原観光課）



地域健康学習会

「若いね」って言わせたい！

～ 外見も内面も美しく健康で ～

保健推進員の活動の1つとして、病気や健康のことについて学習する「地域健康学習会」を行っています。今回は畑ブロック（大門・高根・上畑・宮前・清水町・千ヶ日向・中畑・下畑・城山・佐口・上野・太久保）で学習した内容を紹介します。

人は年を追うごとに、いつまでも元気で働きたい、体も心も若々しくいたいという願いが強くなります。私たちは健康的な美しさを保ちたいという思いから、このテーマで学習を行いました。

1 良い姿勢と悪い姿勢の比較

悪い姿勢
(高齢者に多い)

耳
肩
腰
膝
足

円背で胸が落ちている

腹筋が緩んで骨盤が傾いている

膝がゆるんでいる

重心線から身体の各分節がはずれてバランスが悪い（しっかり姿勢を支えられない）

指導前の姿勢①と指導後の姿勢②を比較してみました

Before → After

良い姿勢

耳
肩
腰
膝
足

軽くあごを引いて、背筋が伸びている

肩はリラックスしている

腹筋と背筋で背骨を支えている

センターを意識して立つ

膝は軽くリラックスしている

重心に沿ってのびやかに立っている（抗重力筋が働いている）

図：武井正子：全国老人クラブ連合会シニアスポーツリーダー研修会テキスト2003より

2 歩行の学習と実践

- 良い歩き方のポイント**
- 顎を引き、背筋を伸ばす
 - 骨盤を前方に起こした姿勢
 - 足の親指で地面を蹴るように歩く

効果

股関節の伸展可動域が向上し、1歩幅の増加、歩行スピードが向上する。
つまずき予防にもなる。
実際に実践したところ、1歩～3歩の歩数の減少が見られた。

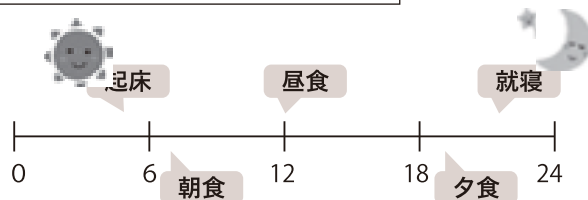
＊良い姿勢と歩行には、足指の使い方が大事！日頃からストレッチをやると効果的です！



上記の体操を行うことで土踏まずができ、歩く時の推進力が向上します。

3 栄養学習で内側から美しく

① 規則正しい生活が大事！



私たちの体は、本来25時間の周期で生体リズムを刻んでいます。早寝早起きや3食の食事時間を決めることで、生活リズムを24時間に整えることができます。

③ 質の良い血液を体に行き渡らせる

全身の血液量は、体重の約1/13とされています。血液の質が大切です！

② 良くない食べ方

早食い …満腹中枢が刺激されにくい

2回食 …大きなお相撲さんも2回食！

寝る前の夜食 …脂肪がつきやすくなる

間食の食べ過ぎ …食事のリズムが崩れ、栄養バランスが偏る

3度の食事をしっかりね！

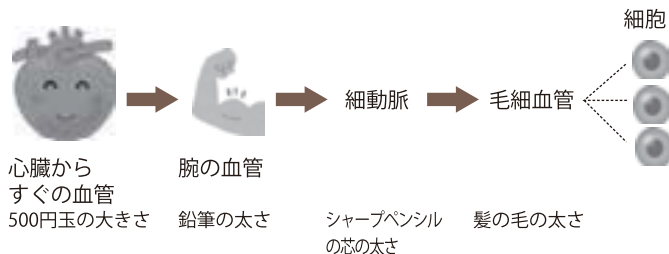
血液とは？

・人間の体を保つために、栄養・老廃物を運んでくれる大切な器官

- ・酸素と炭酸ガス
- ・酵素とホルモン
- ・栄養素（ブドウ糖、コレステロール、鉄など）
- ・老廃物（クレアチニン、尿酸など）

絶えず、物質を交換することで、細胞が長く生き続けられる

血液が通る場所“血管”の太さは？



詰まったり、流れにくくしないようにすることにより動脈硬化を予防できます。



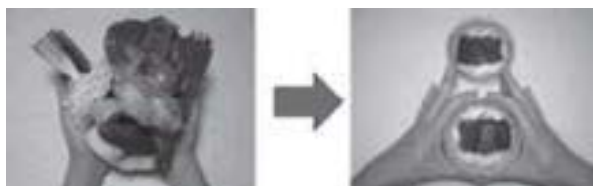
④ バランスよく食べる工夫として、1日分の適量はどのくらい？



手量りで簡単！
わかりやすい！

粗く切った生の野菜なら
両手にすくって3杯分

1食分としては料理に
すると小鉢で2皿分



この量を3食に分けて、火を通すと…

女性には
大切！

骨粗鬆症予防のために多く摂りたい食物

ビタミンD

カルシウム

ビタミンK

きのこ類

乳製品

小魚

サケ・マス

春菊

海藻類

小松菜 モロヘイヤ

生活リズムを整え、食事に気を配り、まずはからだの土台をしっかり作りましょう！



平成30年度 保育所の入所受付のご案内

佐久穂町立保育所では平成30年度入所受付を次の日程で行います。来年度、保育所に入所を予定される児童の保護者の方は、希望する保育所に入所申込書及び必要書類を提出してください。申込書は、各保育所または教育委員会こども課で、10月2日より配布します。

現在町内の保育所に通所している児童につきましては、園児を通じて申込書を配布します。

* 入所申込書の受付日程 *

平成29年10月18日（水） 午前8時30分～正午まで

入所を希望する保育所（栄保育園、海瀬保育園、八千穂保育園）にお出かけください。
なお、来年度初めて入所されるお子さんは入所申込に同伴してください。

* 広域による入所を希望される保護者の方へ
事情により他市町村の保育所へ入所を希望される場合は、
教育委員会こども課保育園係へ直接ご相談ください。



* 佐久穂町の保育所

施設名	所在地	電話	開所時間	受け入れ年齢
栄保育園	高野町228	86-2186	7：30～19：00	6ヶ月児～
海瀬保育園	海瀬2543-1	86-2187	7：30～19：00	1歳児～
八千穂保育園	畑660	88-2252	7：30～19：00	6ヶ月児～

※祝日を除く土曜日、お盆休み、年末年始休み、年度末休みは希望登園になります。希望登園は栄保育園で実施します

* 保育の認定について

保育所とは、就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わって保育をする施設になります。

< 保育の必要な事由 >

- 次のいずれかに該当することが必要です。
- 就労（フルタイムのほか、パートタイム、夜間、居宅内の労働など）
 - 妊娠、出産
 - 保護者の疾病、障がい
 - 同居又は長期入院等している親族の介護・看護
 - 災害復旧
 - 求職活動中（起業準備中を含む）
 - 就学（職業訓練校等における職業訓練を含む）
 - 虐待やDVのおそれがあること
 - 育児休業取得中に、特別な理由があり保育を利用している園児がいて、その園児がさらに継続利用が必要であること
 - その他、町長が特に認める状態にあること

< 保育の必要量 >

保育を必要とする事由や保護者の状況に応じ、次のいずれかに区分されます。

- ①「保育標準時間認定」
→最長11時間保育
(7：30～18：30)
- ②「保育短時間認定」
→最長8時間保育
(8：00～16：00)

※認定区分を超えた保育は延長保育となります。

《お問い合わせ》各保育所または教育委員会こども課保育園係（電話86-4940）



粗大ごみ収集のお知らせ

日時●平成29年10月14日(土曜日)
午前7時から午前10時まで

場所●生涯学習館「花の郷・茂来館」駐車場

当日は陶磁器製食器類の無料回収も行います。詳しくは、12Pに掲載されていますお知らせをご覧ください。

料金は、当日収集会場にてお支払い願います。
営業行為に伴う粗大ごみは、一切受け付けません。
数量を確認のうえお持ちください。

品 名	単 価	品 名	単 価	品 名	単 価
トタン板等		スーツケース		ミシン(卓上以外)	
10kg当たり	100円	木製滑り台		耕耘機	
10kg未満	100円	自転車		農業機械	
小型木製家具類		子供用自転車		リヤカー	
タンス		乳母車		家庭用焼却炉	
木製机		ブランコ(鉄製)		風呂釜(浴槽)	
げた箱		米びつ		畳(1枚)	
本棚		金属製脚立	300円	サイドボード	
鏡台		スチール机		オルガン	
木製テーブル		ガスレンジ		ベッド	1,000円
こたつ板	300円	湯沸器		応接用椅子	
その他		ストーブ		流し台	
布団		小型金属器具類		洗面化粧台	
建具(障子)木製		普通車タイヤ		スプリング入りマットレス	
スキー板		ホイール無 1本		大型家具類	
ゴルフ用具		普通車タイヤ	500円	大型家電製品	
チャイルドシート		ホイール付 1本		大型金属器具類	
				ステレオセット	

注意事項

1. 茶ダンスのガラス戸等は必ず抜いて(取り外して)持ち込んでください。
2. トタン板などで分類困難な物は、10kg当たり100円の負担金をいただきます。10kg未満は100円となります。
3. バッテリー、大型車のタイヤについては専門業者へ直接持ち込んで(有料)ください。町では収集しません。
4. 「不燃物専用袋」に入る5kg以内の家電製品、時計等については、各地区不燃ステーションの収集日に出すか、小型家電リサイクルにご協力ください。
5. 家電製品(テレビ・冷蔵庫(冷凍庫)・洗濯機・衣類乾燥機・エアコン)は、町では収集しません。購入した販売店等に引き取り(有料)を依頼してください。
6. 「資源有効利用促進法」に基づき、「家庭用パソコン」はメーカーが主に回収し資源化することになりました。各製造メーカーにお問い合わせください。

小型家電製品の収集(無料)も行います

- 使用済み小型家電の収集も併せて行います。
収集する品目は、基本的に電池・電気で動くもので、回収ボックスに入らない物です。不明な点は事前にお問い合わせください。
- ◆主な家電製品◆
電子レンジ・石油ファンヒーター・電気掃除機・扇風機など。
- ◆携帯電話・デジタルカメラ・デジタルビデオカメラなど小さい家電製品は、回収ボックスに入れ、リサイクルにご協力ください。
- ◆電池で動く物は必ず電池を抜いて、また、石油ファンヒーターは必ず灯油を抜き取ってから出してください。
- 注) 家電リサイクル対象品の他、電気毛布・電気カーペットなどの布を含んだもの、木製コタツの枠組み、木製スピーカーなどの木を含んだものは出せませんので粗大ごみ対象(有料)となります。

●問い合わせ先 佐久穂町役場 住民税務課 ☎86-2552

information

お知らせ

陶磁器製食器リサイクルの取組のお知らせ

■問合せ 生活環境係 ☎0267-86-2552

日時：平成29年10月14日(土)

午前7時～午前10時

場所：生涯学習館 茂来館駐車場

現在町では、ご家庭から排出された陶磁器製の食器類は不燃ごみとして埋立処分を行っています。しかし、町では限りある資源の有効活用・環境への配慮のために、陶磁器製食器類のリサイクルを行うことにしました。

対象となる物と対象外とさせていただく物は下記の通りとなります。町民の皆様のご協力をお願いします

■対象品目

陶磁器で出来た食器類のみが対象となります。汚れ・水気を取り、ラベルなどの付着物や取っ手などの付属品を取ってお持ちください。不明な点は事前にお問い合わせください。

■対象外品目

次のようなものはリサイクル対象外となりますのでご注意ください。

- ・汚れている物
- ・ガラス・強化ガラス製食器類
強化ガラスの製品には陶磁器製と見分けが付きにくい物があります。「いとどこ」がなく底がつるしたものは強化ガラス製食器となりますのでご注意ください。
- ・陶器以外の素材が付いている物（葉味おろしのシリコンなど）
- ・土鍋・釜めしの釜
- ・七宝焼き
- ・陶磁器製の置物
- ・植木鉢など食器以外の陶器製品



お知らせ

図書館だより

■問合せ 佐久穂町図書館 ☎86-7020

■新刊情報

「11歳からの

正しく怖がるインターネット

～大人もネットで失敗しなくなる本

小木曾 健／著（晶文社）



著者は、グリーという会社に所属しながらネットの安全利用をテーマに全国で講演しています。本書はネットによる詐欺、炎上、SNSの乗っ取り、データ流出、誤爆などで失敗しない為にどうしたらいいのかを、子どもから大人までを対象として書かれています。あまりに簡単に投稿でき、それが拡散するのにかかる時間は一瞬、規模は全世界。その結果に逮捕、失業、破産、誹謗中傷、内定取り消しなどそのダメージはあまりにも大きすぎます。ネットの匿名性から生まれるコミュニケーションの危険さはなかなか理解しづらいものです。大人であれば経験上、自分で判断してアクセルを踏みとどまることもできます。しかし子どもは平気で踏み込んでしまうことも・・・。

思考停止（ネット不信）に陥らないために、大人も子どももネットの本質は現実世界と変わらないモラルとルールとマナーが必要な場であることを理解し、正しく怖がるのが大切です。大人向けには「子どもとスマホ」「わが子のスマホ・LINEデビュー安心安全ガイド」もおすすすめです。

■大人のお話会

夜のお話会～満月の夜に～

日時：10月6日（金） 19：00～

場所：イベントギャラリー

*コカリナの演奏、月の本 ほか

■とちの実おはなし会

日時：10月14日（土） 15：00～16：00

場所：図書館多目的室

内容：絵本の読み聞かせ ほか

☆詳細は館内チラシ等でご確認ください。

information

News

出生祝金を贈呈しました

■問合せ こども課子育て支援係 ☎86-4940

8月28日、29日に7名のお子さんへ出生祝金を贈呈しました。

*平成29年4月生まれのお子さんです。



お知らせ

児童館からのお知らせ

■問合せ 佐久穂町児童館 ☎86-2123

■10月児童館行事

～♪ストレスケアとアロマ工作♪～

*アロマの効用を知りアロマポットを作ります。

日時：10月27日（金）

10：00～11：30（受付 9：30～10：00）

参加費：500円（手作りのお茶菓子付き）

対象者：就学前のお子さんと保護者の方

定員：10名

※事前の申し込みが必要です。

申込期間：9月15日（金）～10月25日（水）

申込先：佐久穂町児童館 ☎0267-86-2123

（受付時間 9：00～17：00）

持ち物：水筒、必要に応じて軽食やおやつなど

■読み聞かせ おひざでだっこ

～図書館司書による読み聞かせ～

日時：10月4日（水）、18日（水）

10：30～11：00

参加費：無料

対象者：就学前のお子さんと保護者の方

事前申し込みの必要はありません。

■おしゃべりルーム ひなたぼっこ

～テーマに沿っておしゃべりする会～

テーマ：「知っているようで知らない学校の勉強」
大きく変化している学校の勉強。お子さんをより理解するために今の学校の勉強について理解を深めませんか。

日時：10月19日（木） 10：00～11：00

参加費：無料

対象者：子育て中の方

事前申し込みの必要はありません。



information

お知らせ

げんでる号の車両更新を行いました！

■問合せ 総合政策課政策推進係 ☎0267-86-2553／佐久穂町商工会 ☎0267-86-1717

車両の老朽化に伴い、佐久穂町のデマンド交通として活躍している「げんでる号」の車両更新を行いました。（1号車及び4号車）

旧車両は、平成19年に運行を開始してから、累計30万kmに近い距離を走行しました。

新車両になった「げんでる号」を、生活の足としてぜひご活用ください。

■利用方法

運行日時：平日の午前8時から午後4時30分まで

利用料：1回（1乗車）

大人300円、子ども150円、3歳未満無料

※どなたでも利用できますが、乗降困難な方は介助者の同乗をお願いします。また、はじめに住所・氏名などの「利用登録」が必要です。

■問い合わせ・申込み

げんでる号受付センター（商工会内）まで。

電話番号：0267-86-1717

☞ 車両更新を行った1号車及び4号車



お知らせ

住まいをお探しの皆様へ 空き家バンク新着物件のご紹介

■問合せ 総合政策課政策推進係 ☎0267-86-2553

■空き家バンクに新しく登録された物件をご紹介します！

【物件登録番号9】

所在地：佐久穂町大字平林101-9

賃貸・売買区分：売買

価格：550万円

築年：昭和45年

間取り：木造鋼板 2階建て 7DK

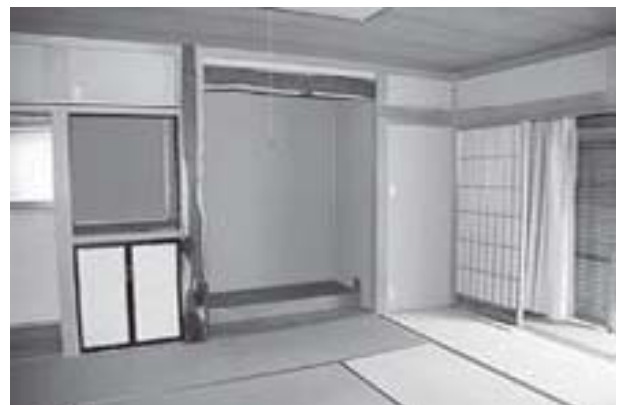
環境：JR小海線 羽黒下駅まで約0.4km

駐車場 2台あり



■物件登録番号9の詳細情報・写真や、その他の空き家バンク登録物件は町ホームページで「空き家バンク」をご覧ください。窓口、お電話でお問い合わせください。

■空き家を所有している方からの空き家バンクへの物件登録も募集中です。（成約実績あり）



information

お知らせ

ゲートキーパー養成研修会の開催について

■問合せ 健康福祉課保健係 ☎86-2528（直通）

“ゲートキーパー”とは自殺を予防する、命の門（ゲート）の守り人（キーパー）のことです。

今回、大切ないのちを守るために、大勢の方に心の健康への理解を深め、日常生活でゲートキーパーの役割を意識していただくことで、「生きやすい社会」に繋がり、自殺を未然に防げるよう、下記のとおり、ゲートキーパー養成研修会を開催します。（この研修会は、佐久地域定住自立圏形成協定に基づき実施します。）

■初級編

対象者：ゲートキーパーに関心のある方

（10月20日までにお申し込みください）

日時：10月25日（水）午後1時30分～3時30分

会場：佐久市市民創錬センター 大会議室

（佐久市猿久保165-1）

内容：研修Ⅰ

「自殺の実態とゲートキーパーについて」

講師 佐久市役所 浅科支所

健康づくり推進係長 滝澤紀子氏

研修Ⅱ「心の健康の理解～

うつ病・アルコール問題を中心に～」

講師 独立行政法人 国立病院機構

小諸高原病院 診療部長 村杉謙次氏

■中級編

対象者：初級編に参加した方（11月10日までにお申し込みください。初級編と同時お申込み可能です）

定員：80名

（定員になり次第、申し込みを締め切ります）

日時：11月20日（月）午後1時30分～3時30分

会場：佐久市市民創錬センター 大会議室

内容：研修「ゲートキーパー養成講座 中級編

～あなたもできる気づき、傾聴、

つなぐ、見守る～」

講師 NPO法人ウィズハートさく

ワークポート野岸の丘 新津薫氏

初級編、中級編ともに参加を希望される方は、健康福祉課 保健係までお申し込みください。

お知らせ

行政相談週間のお知らせ

■問合せ 総務省長野行政評価事務所行政苦情110番 ☎0570-090110／佐久穂町役場 総務課 ☎86-2525

■「行政相談週間」10月16日（月）～22日（日）

総務省の行政相談では、道路・農地・福祉など役所の仕事についての相談をお受けします。どこに相談すればよいかわからない、というような場合にもご利用ください。

総務省長野行政評価事務所行政苦情110番（電話：0570-090110）

■なんでも心配事相談所の開設について

町では、「行政相談委員」と「人権擁護委員」による「なんでも心配事相談所」を右記の日程で開設しています。相談は無料で秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

相談員	相談内容	事務局
行政相談委員	役所の仕事に関する苦情や意見・要望についての相談	総務課庶務係
人権擁護委員	不当な差別、いじめ、プライバシー、外国人、近隣関係、家族関係、相続、遺言、金銭貸借などの問題についての相談	住民税務課 人権政策係

詳しくは、役場総務課庶務係又は住民税務課人権政策係まで

日程		場所
平成29年	9月29日(金)	茂来館
	10月27日(金)	八千穂老人福祉センター
	11月17日(金)	茂来館
	12月22日(金)	八千穂老人福祉センター
平成30年	1月26日(金)	茂来館
	2月23日(金)	八千穂老人福祉センター
	3月16日(金)	茂来館

開設時間は、毎回9：00～12：00まで

information

イベント

信州デスティネーションキャンペーンサンクスイベント 南佐久小海線まつりin佐久穂with 小さなジャズフェスティバル

■問合せ 実行委員会事務局(役場 商工観光係) ☎88-3956/ジャズフェスティバルについては生涯学習課(茂来館) ☎86-2041

南佐久の小海線沿線町村で開催している「南佐久小海線まつり。」今年は八千穂駅周辺で、黒澤酒造「酒蔵開放」や、著名な演奏者が多数出演の「小さなジャズフェスティバル」と共催します。また、古き良きまちなみの残る八千穂駅前ということで、そのまちなみや小海線の歴史等も紹介する予定です。

南佐久の観光資源である小海線を中心に、グルメ(沿線町村の産物や酒蔵開放、飲食ブース)、歴史・文化(駅前のまちなみと小海線の歴史など)、そして音楽(ジャズフェスティバル)と様々な内容で開催します。ジャズフェスティバルでは、茂来館メリアホールでメインコンサート(16:30~)も予定されています。

他にも、ミニSLの運行や町内事業者による出店など、大人から子どもまで楽しめる内容で開催しますのでぜひお越しください。

- ・地元企業の大栄建設感謝祭も同日開催。
- ・当日はSBCラジオ「ともラジ」を会場から生中継。
- 長野県住みます芸人の「こてつ」も会場を盛り上げます。

げます。

■開催日時 平成29年10月1日(日)

八千穂駅周辺会場 11時~16時、ジャズフェスティバルメインコンサートはメリアホールで16時開場
※コンサートは有料(一部無料)

■平成29年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業です。



お知らせ

マツタケの生産者及び販売される皆様へ

■問合せ 長野県佐久地域振興局林務課普及係 ☎0267-63-3154/佐久穂町役場産業振興課林務係 ☎0267-88-2529

マツタケを採取・出荷・販売する全ての方へ。

佐久穂町は現在、放射性物質の影響により、全ての野生きのこについては、出荷販売など制限されていますが、平成27年11月からはマツタケのみ条件付きで解除されました。

マツタケの制限解除にかかる主な条件は、出荷前検査、定期検査を佐久地域振興局で行い、検査結果が基準値以下であれば出荷・販売できます。また、確認検査においては50bq/kg以下で、出荷・販売ができます。

■集出荷、販売管理の徹底

- ・生産者台帳(生産者の住所、氏名、採取場所)等の整備、保管をしてください。
 - ・適正表示(品目・採取地・採取日・採取者の表示)
- 【表示例】(採取日が複数の際は全ての日を記載)

品 目：マツタケ	採取地：佐久穂町
採取日：H29.9.10	H29.9.11
採取者：〇〇〇〇、(出荷者)〇〇〇〇	

■マツタケ販売者の皆様へのお願い

- ・町から検査用の検体を求められた場合、ご協力をお願いいたします。
- ・出荷先(直売所・市場)から、台帳整備に必要な内容について、届出を求められますので、必ず届出をしてください
- ・消費者や飲食店へ直接販売する時は、販売先等を記載した出荷台帳を整備する必要があります。

■佐久地域の野生きのこの出荷制限状況

小諸市、佐久市、小海町、南牧村は佐久穂町と同じで、マツタケのみ条件付きで解除できる状況です。軽井沢町、御代田町はマツタケを含む野生きのこの全てが制限されている状況です。

川上村、南相木村、北相木村、立科町は制限がありません。

マツタケの採取・出荷・販売についてご不明な点等ございましたら、長野県佐久地域振興局林務課普及係(電話63-3154)または、佐久穂町役場産業振興課林務係(88-2529)までお問い合わせください。

information

お知らせ

平成29年度 秋の狂犬病予防注射の実施について

■問合せ 住民税務課生活環境係 ☎0267-86-2552

平成29年4月以降注射を受けていない犬が今回注射の対象になります。対象の方には、場所と時間を記載したハガキが届きますので、ご確認の上、ハガキを持参してください。

- ・飼い主は年1回、必ず狂犬病予防注射をさせなくてはなりません。
- ・上記日程以外でも、動物病院で個別に注射を受けることができます。

お知らせ

佐久穂町立千曲病院 病院祭開催のお知らせ

■問合せ 事務部庶務係 ☎86-2360

佐久穂町立千曲病院祭を下記の日程で行います。

日時：平成29年10月1日（日）
午前10時から午後3時まで

特設ステージにて佐久穂ウインドオーケストラ、花さく太鼓、千曲病院有志によるバンド演奏が行われます。

また、各種体験コーナー、わたあめ・ポップコーン・カステラ・おにぎり等の無料配布あります。

お知らせ

町有林のマツタケ山への立入禁止について

平成28年度から平成30年8月29日までの間、佐久穂町有林のマツタケ山（別図参照）において、土地賃貸借契約を締結した区域内への無許可での立入りは禁止されていますので、ご理解とご協力をお願いします。



お知らせ

長野地方法務局佐久支局における 国籍事務の取扱いが廃止されます

■問合せ 長野地方法務局戸籍課 ☎026-235-6629

平成29年10月2日（月）から長野地方法務局佐久支局における国籍事務の取扱いが廃止されます。

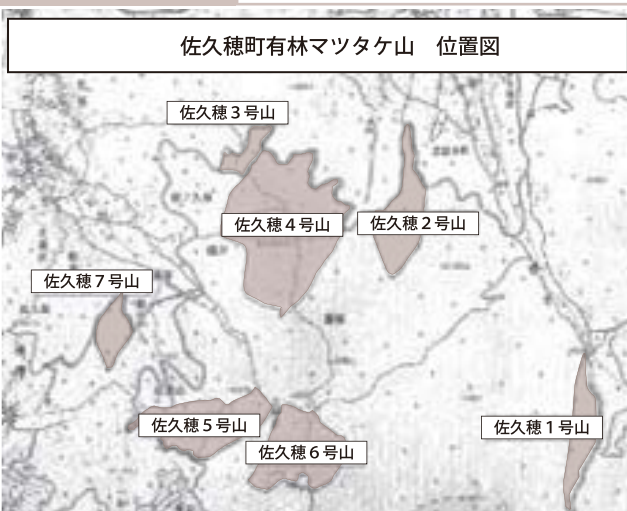
これに伴い同日から、当町に住所を有する方の下記の届出又は申請等については、長野地方法務局戸籍課において手続きをすることになります。

- ・帰化許可申請
外国人の方が日本国籍取得の為、申請するもの
- ・届出による国籍取得
国籍法第3条又は第17条に定められた外国籍の方が、届出することで日本国籍を取得するもの
- ・国籍離脱
日本国籍とそれ以外の国籍を持つ重国籍の方が日本国籍を離脱する手続
- ・その他の国籍に関する相談
国籍に関する相談を受付します

詳しくは、長野地方法務局戸籍課へお尋ね下さい。



■問合せ 産業振興課林務係
☎0267-88-2529



information

お知らせ

新農家暦・農業日誌・ファミリー日誌 平成30年版予約受付中！

■問合せ 産業振興課農政係 ☎88-2528

ハンディーサイズでさっと出して使える農家の実用ハンドブックとして

■新農家暦 A5判 88頁
定価 520円（税込）

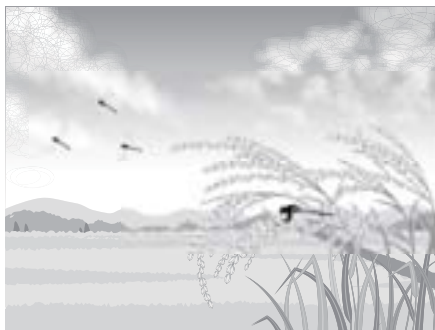
1年間の日々を記録。読んで楽しく役立つ冊子

■農業日誌 B6判 616頁（予定）
■ファミリー日誌 B5判 336頁（予定）
定価 両誌とも 1,500円（税込）

後日、料金と引き換えにお渡しいたします。

■申込方法

10月20日までに産業振興課農政係まで



イベント

市町村振興宝くじ ハロウィンジャンボ宝くじ 10月11日から発売開始！

■問合せ 総合政策課政策推進係 ☎0267-86-2553

「ハロウィンジャンボ宝くじ」と「ハロウィンジャンボミニ」が、10月11日（水）から全国で2種類同時発売されます。

■発売期間

平成29年10月11日（水）
～ 10月31日（火）



宝くじの収益金は、長野県の販売実績により配分されますので、長野県内の宝くじ売り場でお買い求めください。

この宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

お知らせ

さくほ通信発行のお知らせと、掲載情報の募集について

■問合せ 総合政策課政策推進係
☎86-2553

町内外にお住まいの皆さんが、ふるさと佐久穂町について見つめ直すきっかけ、同級生とのつながりを強めるきっかけとなることを願い、さくほ通信を発行しました。

7月に町内の皆様に全戸配布させていただきました情報誌「さくほ通信」について、20代、30代のご家族がいらっしゃる方は、是非お渡し下さい。

■さくほ通信に掲載する仕事・飲食店情報の募集

町内の仕事・飲食店の情報を商工会を通じて募集しています。是非ご協力をお願いします。

詳しくは、総合政策課政策推進係までお問合せ下さい。

さくほ通信は、ホームページからご覧いただけます。

<https://from-sakuho.jimdo.com>



集団としてグローバル機能を持つ

町長を拝命してから5カ月、木が年輪を刻む毎に太くなるように、町が前年よりもちよつとでも太くなつて強くなるにはどのような経営をしたらよいのかいつも考える日々です。

町村合併をして当町が誕生した頃に、地域づくりにはグローバルな人材が必要だと言われていました。グローバルはグローバル（世界的な）＋ローカル（地域性）の造語です。地球規模の広い観点に立つて時代の速い流れに対応し果敢に挑戦するグローバルな人、この町特有の良さを見失わずに受け継いでいくローカルな人、どちらも大切です。

私は、そういう地域づくりができる理想的な人材ではありませんが、この町には他から移住したり嫁いできたりして様々な分野で活躍している人がいます。佐久穂に生まれ育ち、仕事に取り組みながら真剣に地域の将来を考える人がいます。一人ではだめでも、集団として組織としてグローバルな機能を持てれば地域づくりは可能になると考えます。

私は、その地域づくりを「ひとづくり・まちづくり・ふるさとづくり」の三つに分けてみました。

ひとづくりは、こどもたちから大人まで幅広い世代を対象に考えています。地域づくりをしていくのは、この

地域を愛する人たちです。

最も重要な部分ですので、

優先順位をつけながら、段階的に進めていきます。

まちづくり

は、国、県、民間企業も関わるハード事業が主体ですが、計画案を示して説明、検討していきます。

ふるさとづくりは、過去に学びながら未来を見通す事業で10年20年と継続実施していかなければなりません。これは、佐久穂町総合計画と合致するものです。さらに「小中一貫教育・英語教育・キャリア教育（ふるさと学習）」を三本の柱とする佐久穂教育とも重なってきます。

未だ思いのほどには行動が伴わないのが実情ですが、粘り強く努めていきます。

この三つの「づくり」の進捗状況を今後も折々にお知らせしながら、皆様のご意見も伺えればと考えております。

佐久穂町町長 佐々木勝





館報

さくほ



編集・発行 佐久穂町公民館 〒384-0503 長野県南佐久郡佐久穂町大字海瀬 2570 TEL.0267-86-2041 FAX.0267-86-2939

公民館の思い出アルバム



楽しかったね
親子で信州百名山
「茂来山」登山に挑戦
森の巨人「トチノキ
こぶ太郎」にも
会えたよ



第2回
いきいき茂来クラブ
神秘の苔の森
白駒の池を散策♪



夏の子ども劇場



魚釣り教室&
ルアー教室
釣った魚は自分たち
でさばいて調理し、
美味しく
いただきました！



Aブロック優勝
高野町第一分館



* 大会結果表 *

ブロック	優 勝	準優勝
A	高野町第一	高野町第二
B	穴原	宿岩
C	下畑	上区第二
D	雁明	八郡
E	四ツ谷曾原 (合同)	天神町

会場が熱気につつまれました。

計三十三分館三十チームが出場し、

催されました。

育館と海瀬社会体育館の二会場で開

七月九日(日)、しらかば社会体

第13回

分館対抗
バレーボール大会



げんきだ！H.O.O

佐久穂町スポーツ推進委員会



涼しい高原で水遊びを満喫!!

七月十七日に第三回わくわくチャレンジ教室（ミニキャンプ）を駒出池キャンプ場で開催しました。毎年海の日に開催が恒例となったミニキャンプに今回も五〇名の親子が参加し、「ニジマスのつかみ取り」・「カレー作り」を体験しました。

当日の朝放流した八〇匹のニジマスは素早く泳ぎ、子どもたちは素手で捕まえるのに悪戦苦闘しながらも全部捕まえました。



捕まえたニジマスは親子で包丁を使い、内臓を取り除き、塩振りをし、塩焼きの準備をしました。カレー作りも野菜調理を親子で行い、いろいろな大きさの野菜たっぷりの美味しいカレーが出来上がりました。

朝から元気に動き回った子どもたちはお腹もペコペコになり、カレーとニジマスの塩焼きをペロリと完食しました。普段は川で魚を捕まえたりする遊びが出来ないので、子どもたちの魚を捕まえて親に見せる笑顔が印象的でした。

八月六日には第四回わくわくチャレンジ教室が開催され、古谷ダム上流で川遊びを行いました。晴天に恵まれ、自然豊かな場所で親子十七名が参加しました。

スポーツ推進委員の指導の下、子ども達は早速水着に着替えて川に入り楽しく水遊びをしました。網でトナボを捕まえようとしたり、ハヤなどの小魚を捕まえようと澄んだ冷たい川の中で、一生懸命チャレンジしました。

川から上がった後は広場でジャガイモを蒸かして味噌や塩を付けて食べたり、マシュマロをたき火で焦がさないように上手に焼いて食べました。

天気にも恵まれ夏の楽しい一日を過ごしました。



平成29年度 成人式

8月15日（火）茂来館で佐久穂町発足以来、第13回目の成人式が開催されました。

今年の対象者は119名で、そのうち102名の出席者がありました。

式典では、代表者2名が新成人として熱意のこもった意見発表をしました。

式後、旧町村ごとに記念撮影を行い、実行委員会主催による懇親会では久しぶりに恩師と級友に再会した喜びで、賑やかな会場となりました。



祝二十歳 成人式 開催される

平成二十九年成人式実行
委員長の星野来季です。

本日、ご来賓の皆様におかれましては、お忙しい中ご臨席をたまわり、誠にありがとうございます。

私たちが本日、このような立派な成人式を無事迎えることが出来たのは、両親をはじめ、先生方、地域の皆様が見守り育てて下さったおかげだと深く感謝しております。

また、実行委員会のメンバーには、打ち合わせの為に何度も集まっていた頂きました。地元在住の者から県外在住の者までいた為、連絡がうまく取れずに苦労することもありましたが、全員で協力するこ

とで成人式の準備を整えることが出来ました。

なお、成人式の企画・準備を進めるにあたり、公民館長さんをはじめ担当の皆様にご協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

短い時間ではありますが、

この式典が皆さんにとって人生の節目としての思い出、また社会人としての自覚に大きく繋がることを祈念して、実行委員長の挨拶といたします。



意見発表者

藤原 昌樹



本日は、私たち新成人のために、このような盛大な式を開催していただき誠にありがとうございます。新成人一同を代表して、心よりお礼を申し上げます。

さて、皆さん、新成人になり、今どんな気持ちでしょうか。私は、もう二十歳になつてしまったという戸惑いで、正直なところ大人になったという実感がまだ湧きません。昔は、「早く大人になりたい」と思っていたのに、いざなつてみると、もうあの頃には戻れないのだと少し寂しい気持ち

ちになります。今日は久しぶりに懐かしい友達やお世話になった先生に会えて、嬉しく思います。

この佐久穂町で同じように育った皆さんは、現在それぞれ違う道を進んでいることでしょう。私は今、東京の大学に通いながら、一人暮らしをしています。東京で生活してみても、気付いたことがあります。それは、この佐久穂町の素晴らしさです。都会の人達は正直冷たい人が多いと感じます。これは私が上京したばかりのころの話ですが、近所に住む初対面の方に、「こんにちは」と挨拶をしたら、不思議そうな目で見つめられ、「誰ですか」と言われました。この佐久穂町で生活している時には、たとえ知らない人であっても、挨拶をしたら、誰でも明るく挨拶を返してくれました。私は挨拶が返つてく

ることを当たり前のことだと思っていました。それは佐久穂町に住む人たちの温かさなのだと気付きました。

また、佐久穂町の自然の素晴らしさにも気付くことができました。東京では実家と同じお米を食べているのに、使う水が違うだけで味が全く違います。空気もとてもきれいで、帰省した時には、空気の気持ちよさに感動します。都会で生活することで、都会にはない、この町だけの良さを感じ、佐久穂町で生まれ育ったことに誇りを持つことができました。

そして、東京での生活の中で何よりも感じることは、家族の支えです。一人暮らしとは言え、結局は自分一人の力だけで生活することはできず、日々支えてもらっていることを感じます。自分で作るご飯はおいしくないし、洗濯など

の家事も自分でしなければいけない、実家で当たり前だったことがそうではなくなり、家族のしてくれていたことのありがたさに気付きました。

新成人になったこれからは、今まで支えてくれた家族や、私を育ててくれたこの佐久穂町に恩返しをしていきたいと思っています。そして、成人になったという自覚と責任をもって、これからの人生を歩んでいきます。

最後に、この日を迎えることができたのは、家族や先生、地域の皆さん、そして、この式の準備をしてくれた実行委員会の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。成人になったとは言え、まだまだ未熟な私たちですが、これから先、どうか温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。新成人代表の挨拶とさせていただきます。

意見発表者

岡部 将太



本日はこのような盛大な式を挙行され、門出をお祝いしていただきありがとうございます。新成人を代表してお礼申し上げます。

月日が流れるのは早いもので私達が中学校を卒業してから五年が経ちました。仲間と過ごした日々が昨日のことのように思い出されます。私達が中学生だった頃、今ある新校舎はまだ白い防音壁に囲まれ工事中でした。それが今では立派な校舎になりました。私達が過ごした校舎は無くなってしまうことが変わらず

残っている事があります。それは、清掃に対する意識の高さです。先輩方から私達へ、私達から後輩へ引き継がれて

いった伝統である『三昧清掃』のような無言で行う清掃が今でも行われていることを知り、大変嬉しく思いました。私達が旧校舎を大切にしてきたように新校舎も長く大切に使用されることを願っています。

さて、伝統というそれぞれこの地区にも伝統の行事が残っていると思います。私がいる地区では夏には盆踊り、お正月にはどんど焼きといった行事を行っています。どちらも地区の多くの人が集まる一大行事になっています。私は小学校の時から盆踊りで毎年焼き鳥やイカなどを焼いており、徐々に板についてきました。そして、今年も盛大な盆踊りとなりました。しかし、日本は少子高齢化

に伴う人口減少に直面しており、そうした伝統を残すことが難しくなっています。また、日本全体で言えば戦後七十二年を迎えて戦争体験者も高齢化しています。こうした中で私達新成人を含めた若い世代が果たすべき役割は大きくなっています。一つ

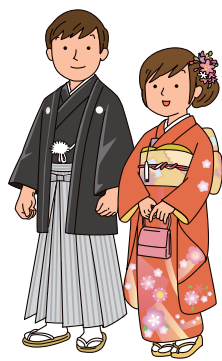
は私達が伝統を守り、後世へと繋いでいかななくてはならないということです。もう一つは、戦争の悲惨さを語り継いでいかなければならないということです。私達若い世代が関心を持ち、率先して動いていくことが大事になってきています。

私達の中には既に実社会に出ている人もいれば、これから実社会へ飛び立つ人もいます。いずれにせよ私達は高齢者がその人らしく生活できるように、また、子ども達が健全に育つようサポートしてい

く必要があります。

私達にはこれから様々な困難が立ちはだかることでしょう。一人では出来ないことも仲間がいればできると思います。仲間を大切にしてください。私たちの未来を切り開いていきましょう。

最後になりましたが今まで私達を見守り、支えてくださった皆様、本当にありがとうございます。佐久穂町で生まれ育ち、多くの仲間と出会えたことを幸せに思っています。まだまだ未熟な私達です。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。今後私達がこの佐久穂町を支えていくことを誓い、私の挨拶とさせていただきます。



同好会等 文化活動団体 紹介

大正琴同好会

おことはつらいよ!!
苦節三十年:
奇跡の同好会新風を巻き起こせ

■大正琴とは

大正琴は大正二年に森田五郎氏によって発明され、全国津々浦々に普及した。今は三つの流派があり理事長の海部俊樹氏を先頭に活動をしている。

今日紹介する同好会の流派は、「琴伝流」といい、会長は、北林篤氏は全国に流派を広げている。また、平成五年五月二十七日には、文部省（現文部科学省）の許可により、「社団法人大正琴協会」として設立。平成二十年の公益法人制度改革に伴い、平成二十五年四月一日に、内閣府の認定により「公益社団法人大正琴協会」へ移行した。

当時彼女達は、篠原先生の指導を受けながら、長野県の本部、伊那の教室へ何十回と通い、そして各地区に会員を増やしては県大会、全国大会へと何十回も出場した。

それから三十年近く経ち会員は激減。数人になってしまった。しかしながら会員の熱意と努力により今では新しく若い仲間が増えて、楽しく話したり笑ったりと活気に満ち溢れているという。

■メンバーから一言

現在十五名で文化祭、ボランティア活動、練習にと頑張っています。大正琴は老人の奏でるものではありません。今は子どもから大人まで幅広

く伝えられております。一緒に奏でてみませんか。お待ちしております。

お休みはお彼岸、お墓参り、お盆、雪が降って道が危ない時、会員が休みの多い時。そんな予定でやっています。



興味がある方は
ご連絡ください！

大正琴同好会

活動日：土曜日（月3回）

時 間：9：30～11：00

場 所：八千穂老人福祉センター

代表 佐々木 国子

電話 0267-88-2333

SAKUHO 3 on 3 FESTA

八月十二日（土）、しらかば社会体育館で、「第二十三回佐久穂3 on 3 バスケッ トボール大会」が開催されました。

ミニキッズの部五チーム、一般の部十五チーム、計二〇チームがエントリーし熱戦を展開しました。

SAKUHO 3 on 3

3 FESTA 特別ルールで巻き起こる大波乱、チーム代表者による1 on 1 トーナメント戦では接戦が繰り広げられ、見所の多い大会となりました。

戦いはもう始まっている...!

十二月十七日（日）

第二十四回佐久穂3 on 3 バ

スケッ トボール大会開催予定

たくさんのチームの参加を

お待ちしております。

●ミニキッズの部

優勝 サロン世田谷ジュニア

準優勝 K & S

三位 M R S



●一般の部

優勝 NONAME

準優勝 MEGA FIX

三位 ロビンソン



短歌や俳句の同好会の作品

公民館短歌会・樹歌会

「あつ堂」腰を上げてくる夫と一つの光見るも記念日

石井 雪子

「河童忌」が誕生日なる夫にして七十八歳『羅生門』読む

市川 エツ子

草を抜き土寄せ済みし葱畑畔のひまわりみーんな笑みをり

加藤 京子

失語症となりたる夫の代弁し喜怒哀楽の二十年なりき

狩野 つる子

八月の予定表一杯決まりるて田舎大好き男子等を受く

川上 雅子

滔滔と五郎兵衛新田潤せる蓼科山の源水に立つ

菊原 泰子

猛暑日の千曲の川風爽やかにさっと吹かれて生気が戻る

小須田てる子

孫の来て花のない庭淋しいと作ってくれたかわいい花壇

小林 宣子

背に腕に纏はり付くシャツ脱ぎ捨てて熱きシャワーに今日を流しぬ

篠原 すみ江

伊勢湾に白波立てて帰ってくる夕陽の小舟にほっとする旅

高橋 夏生



職場交流 ソフトボール大会 開催される

八月二十七日(日)に海瀬総合グラウンドにて、町商工会と公民館共催による「第十三回職場交流ソフトボール大会」が行われました。

全十九チームが参加し和気あいあいと試合を楽しみました。

優勝は畑八開発(株)Aチームとなりました。おめでとうございます。

喜びの声

今年も十九チームと多くの企業が参加し、畑八開発(株)からは三チーム参加させていただきました。その中

でも畑八開発(株)Aチームは二年連続優勝と、素晴らしい結果を残すことができました。ただ勝つという姿勢だけではなく、チーム全員が試合に参加し、全員で楽しむという気持ちがあったからこそこのような結果が残せたと感じています。

このような行事があると普段関わりのない企業とも交流が出来るので町内が一段と盛り上がるような気がします。これからも大会が長く続き、また参加し続けられればと思います。

大会結果表

	優勝	準優勝
A	畑八開発(株) A	(有)小沢電業社 (合同)
B	(株)吉本 (合同)	千曲病院 (合同)
C	佐久穂町商工会八千穂支部	ジェイエー長野会
D	佐久穂町役場 B	佐久穂町商工会西支部

目にみどり風柔らかに若葉揺れこのエネルギー吸い込んで夏

高見沢 純子

野に入りて祖の開きたる田や畑の荒れ野となりて風のみぞゆく

内藤 史郎

白樺の木下で眼閉じおれば緑の風のふんわりと寄る

内藤 つぎ子

「こんな人の」次には「そんなこと」失言のあそこに感染「王様の耳」

西沢 槇

梅雨明けも豪雨の絶えず不安な日真夏の空はいつ現れる

畑 繁男

空き缶に縁側の猫目をすえて自分の出番とや狙っていたり

畑 二子

六年経ちフクシマの今ふるさとを諦める人迷えるあまた

吉田 敬子

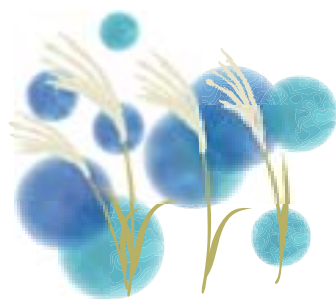
すれ違う誰もが知人に見える街ついついひとりを探してしまふ

横堀 咲紀

みどりの風吹き抜けてゆく大茅屋時空の申し子燕もわれも

(白馬村青鬼集落)

中島 雅子



第13回 佐久穂町文化祭

会場 生涯学習館「花の郷・茂来館」

開催日 11月3日(金)、4日(土)、5日(日)

※茂来館閉館時間

11月3日、4日 午後6時

11月5日 午後5時

概要

●11月3日(金)

作品展示、「假屋崎省吾氏による
トーク&デモンストレーション」(午前)

茂来デー・マルシェ(特産市)、カフェ

●11月4日(土)

作品展示、ステージ発表 第1部(午後)、お茶席、
茂来デー・マルシェ(特産市)、カフェ

●11月5日(日)

作品展示、メリアワンダー(午前)、
ステージ発表 第2部(午後)、
茂来デー・マルシェ(特産市)、カフェ

○町文化祭の詳しい日程は、10月下旬に全戸配布いたします。

鍋の中の食材のようにあなたも美味しい味を出してみませんか
心も体もホットになろう

鍋コン 寄せ鍋コンサート 参加者募集

開催日 平成30年2月18日(日)

会場 茂来館「メリアホール」

参加できる人

町内在住者・町内在勤者・町内企業の活動・町内事業所・
学校のクラス
学生(小学生、中学生、高校生、大学生)・職場の仲間
分館などの地域・仲良い友達・音楽活動をしているグループ

募集期間

平成29年10月1日(日)～平成29年10月29日(日)

募集組数

20組

申込み先

佐久穂町公民館 (FAX可: 86-2939)

(電話での申し込みはできません)

その他

・ステージ発表の形式は器楽演奏でも歌唱でも可
(カラオケでの参加はできません)
・発表人数は制限ありません(一人でもグループでも可)
・町の文化財「スタインベルグランドピアノ」も演奏できます
・参加を希望された方には、後日出演時間、曲目についてなどの連絡をします
(演奏時間は概ね1出演者15分程度の予定です)

*申込用紙は公民館窓口にご用意します

お問合せ：佐久穂町公民館(茂来館) 電話0267-86-2041



とびめわさ

発掘!

三つの合唱団の歌唱指導、指揮に携わる声楽家。市民ミュージカル「こころのミュージカル」では指導、作曲を担当。



やまぐち まりこ

山口 万里子さん

1961年東京世田谷生まれ。立教女学院中時代、聖歌隊で歌うことの楽しさに目覚める。桐朋学園大学音楽学部声楽科在学中に山口忠雄さん（現・ヤマグチパイピング社長）と知り合い、結婚。3人の子どもを育てながら、近所の子どもたちにピアノを教える。31歳のとき、「コーラス・フィオレンテ」の指導に携わり、2011年から、市民ミュージカル「こころのミュージカル」の歌唱指導、作曲を担当。最近義母が施設に入居し、ご主人と2人家族。

「指揮者つてド真ん中にいるから、一番わかるポジションなの。しかも、自分の言葉一つでコーラスが変わってくる。だからめっちゃめっちゃ楽しいし、こんな楽しい仕事はありません」

今

万里子さんが関わっている合唱団は、「コーラス・フィオレンテ」（佐久穂町）、「J・A佐久浅間歌声ひろば」、「ポピュラー童謡の会」の三つ。「コーラス・フィオレンテ」は歌唱指導を始めて二十五年になる。また、市民ミュージカル「こころのミュージカル」の歌唱指導、作曲に携わって七年になる。

在学中に結婚し、旧佐久町大日向にきたのが大学を卒業したばかりの二十二歳のとき。子育てをしながら近所の子どもたちにピアノを教えていたが、子育てがひと段落したころ、「万里子さん、出てこれない？」と声がかかった。合唱指導の依頼だった。大学で声楽を学んだ万里子さんにとって合唱は専門分野。断る理由などなかった。ちようどご主人が起業したときで

もあつた。

指揮の醍醐味は「一番いいところで音楽が聴けること」だという。「指揮者つてド真ん中にいるから、うわつ、よくなった。今のは違う、つて一番わかるポジションなの。しかも、自分の言葉一つでコーラスが変わってくる。だからめっちゃめっちゃ楽しいし、こんな楽しい仕事はない」と顔を輝かす。

大学卒業直後に生まれた長女とピアノを持って東京から来きた万里子さん。だが、周囲はみな危ぶんだ。

祖父には、「田舎と東京は五十年の隔たりがある」と言われ、大学時代の親友や友人たちからは「かわいそう」「もったいない」「悲惨ね」と言われた。そして集落の人たちからは「何でアンタここへ来たの?」「田舎

に憧れて来たの?」と訝られた。だが、万里子さん自身は音楽を捨てたわけでもなく、田舎に憧れてきたわけでもなかった。

「だって、私が育った狛江市（東京）は周りじゅう畑だらけだし、多摩川べりだし、十分に田舎でしたから」

万里子さんを駆りたてたもの、それは夫への愛だった。

「だって、自分が好きになった人のところへ嫁げるくらい楽しいことはないですよ」

カルチャーギャップがなかったわけではない。家の中でも靴を履いたままという、アメリカナイズされた一族に育った万里子さんにとって、大日向はやはり草深い田舎だった。

救いになったのは義母の存在。「辛いことに群馬生まれの義母が若いときに、奉公でいろんな場所に行つて、外の世界を見てきた人だったので、新しく来た私を戸惑いながらも受け入れてくれた。それがとてもありがたかったですね」

結婚後、もう一度声楽を勉強し直したいと思つた万里子さんは、往年の名ソプラノ歌手で「世界でたった一人習いたい先生だった」東敦子さんのレッスンを受けるため、月に一回東京へ通う。もちろん子育てをしながらだ。そして八年後、「先生からようやくほめられるようになりました」。大学の願書に書いた言葉を万里子さんは今でも鮮明に覚

えている。「たとえ聴衆が一人であつても、生涯演奏家でありたい」――。

コーラスの指導でもつねに言うことは、「お隣の家の方が客席にいたら、その人を喜ばせましょう」。万里子さん自身も「誰を喜ばせたいのかを自問自答する日々」だという。

バイタリティにあふれ、元気いっぱい万里子さんだが、「一人では生きていけないタチ」と笑う。

「人から見れば、田舎にいて夢を追っているように見えるかもしれないけれど、夫、そして家族はものすごく大きなファクター。家族も、夫の会社も盛り上げ、音楽も盛り上げたい。私って欲張りなんです。そしてなにより、いままで自由にやらせてくれた夫に感謝しています」



「こころのミュージカル」のイベントで指揮をする山口万里子さん。「万里子先生のようになりたいと言われるのが一番うれしい」（佐久平のイオンで）